

仲間づくり各地の活動

一度に6人が加入高齢者比率5%を回復
北桑田支部

左賀政文府本部委員
私は昨年支部執行委員になっ
たばかりです。

10月に1人の加入があり18
5名から出発。目標は190人
としました。

一度には難しいので、当面、
高齢者比率5%になる187人
を目標としました。しかし、拡
大に対する組合員の意識は重く
なかなか議論もすすみません
でした。

1月に2人の退会者があり1
83人になりましたが、一方6
人の加入者があったときいて、
執行委員会もビックリした。1
89人まで仲間が増えて目標ま
であと一人になりました。

2月10日に新春のつどいがあ
りコーラスサークルの方にも参
加してもらおうのですが、組合加
入されていない方から参加して
もいいのかと言われ、加入され
ていない



北桑田支部左賀政文さん
人は「参
加者費が
半額」と
いうのが

決め手となり、一気に6人の方
に年金者組合に加入してもらえ
たということです。

次のステップに向けて今後も
頑張っていきたい。

毎月の旅行で仲間が増える
舞鶴支部

石間正治府本部委員

昨年1年間で28人の仲間が増
えました。

楽しい旅行を年7回、一泊旅
行等も文句もなく年9回の「旅行」
を行っています。行先は近畿の
各所を計画し、毎回30人から40
人が参加しています。高槻の仏
像めぐりに51人が参加、定員が
合わず大型バスに切り替えまし
た。組合員が必ず年金者組合に
加入されていない人を誘って参
加してもらおうことにしています。

そのほかにも、グラウンドゴル
フの忘年会やサークル活動を活
発に行っています。1月20日の
新春放談会を行い70人が集まり
傘寿のお祝いをする。今年は、
はつきくと甘夏柑を能登平島舞



舞鶴支部石間正治さん
金として
販売しま
した。
中村哲

さんのパキスタン、アフガンで
の活動「武力で平和は守れない」
を平和委員会、新婦人、年金者
組合の三者が実行委員会をつく
り、映画会を行い170人が参
加しました。

独自のパンフレットの配布
で大きな反響
亀岡支部

小川正府本部委員

以前作成したパンフレットは
硬い内容だったので、親しみや
すい内容に変えて作成し、内容
もサークル紹介を中心にしまし
た。亀岡支部の愛称を募集し
「亀力ムクラブ」と命名し、年
金者組合を知ってもらうことに
しました。

問題意識としては、この間、
労働運動が大きく停滞してきて
いる、そのような中でいままで
どおりの活動では増えないとい
うことも議論して、労働運動の
落ち込みをカバーするための要
求運動をす
めること
をしようと
考えま
した。



亀岡支部小川正さん
うと考えま
した。

12月初めに京都新聞に320
0枚の年金者組合紹介リーフレッ
トと折り込みました。12月に問
い合わせが8件、その内加入が
4人ありました。

府本部委員会の発言から

市長選挙、西京区で安心
して暮らせる街に
西京支部

山本公子府本部委員

西京支部では、昨年9月、
すぐに福山さんの支持決定を
して、組合員さんへのアピー
ルを出し、募金も訴えました。
市長候補への「敬老」や
「芸大跡地」などの6項目の
公開質問状を提出し、回答状
況を組合員に配布しました。



西京支部山本さん
こと、退
会者への
協力依頼
なども支
部役員が

府本部委員会に参加して
城陽支部 牧野節子さん

「高齢者を取り巻く現状と取
り組みは、補聴器助成制度、
公共交通不足、敬老乗車証値
上げ、物価高、年金減額等共
通の課題を抱え厳しい暮らし
を強いられています。当日は

9支部から発言がありました。
秋の仲間づくりについては頑
張りや工夫が具体的に紹介さ
れ、教訓が報告されました。
仲間を増やすことの大変さ、
加入対象者と話をするきつか
けをつくり支部目標を上回る

中心に行いました。どこにいっ
ても年金者の組合員が、がん
ばっている姿がありました。
この選挙で私たちが、西京区
で安心して暮らせるまちにし
ていくために、福山さんの政
策が欠かせないとの訴えで共
感を得て広がっていきまし
た。若いママたちに粘り強く訴
えをする中で選挙に行っても
らえた。行ってきたよとの報
告もありました。

これからは、福山さんのマ
ニユフェストを実現していく
運動が必要だと思えます。

仲間を迎えた支部。仲間増や
し班を作り、繋がりから訪問
部、他の支部の経験に学び、
みんなで力を合わせて取り組
むことの大切さを実感しまし
た。

仲間増やしは「元気の源」。
即、成果がなくても、一緒に
楽しみませんか」と声掛けし、
サークル見学やバス旅行、ハ
イキング等に誘ってみる。カ
ラフルなチラシ印刷は手渡し
や地域に配布する時も肩苦し
さなく好評との事。

私も作ってみたい、からだを

対市要望を活発にしたい
宇治久御山支部

前窪義由紀府本部委員

仲間づくりですが、現在、
425人。ほおっておいたら
減るばかりです。役員がその
気になること、個人に任ずる
ではなく、一緒に拡大に行く
実践をしていくことが大切。
市に対する要望活動を活発に
していきたい。



宇治久御山支部前窪さん
市民の
足を守る

動かしてみたいとお話し参加
で加入にこぎつけたり、おしゃ
べりを楽しみながら、仲間を
増やしていく充実感があると
話された支部。地域に溶け込
み、仲間がいてつながること
で元気になる。高齢者の要
求を実現し高齢者を一人ほっ
ちしない運動を。いのちと暮
らしが守れる年金の改善は待
たなしの課題です。

組合員一人ひとりの知恵と
力を借りながら頑張るって取り
組みをすすめていきましょう。
城陽支部機関紙から転載

1月の終わりに地域への全戸
配布を1200枚したところ、
問い合わせが2件ありました。
今後地域を決めて、全戸に配
布していきたいと思っています。

市長選挙、組合員と一緒に
頑張りました
山科支部

高畑照世府本部委員

山科支部では独自で宣伝カ
ーも出して、高齢者のチラシも配
布して、いろいろなどころでお
話しさせて弁士を行いました。
私自身の敬老乗車証に関して、
負担金が3000円、6000
円、9000円と負担が増えた
話をすると、みなさんビックリ
された。そのような話をあちこ
ちでしました。

山科の市営住宅についてです
が、山科はベッドタウンです。
40年経って市営住宅、空きやだ
らけです。本当にもったいない。
いま娘が3人の子育て中で、今
のアパートでは狭い、市営住宅
をりホームして若い人に貸し出
してもらいたい。

京都市内バスの問題も大きい
問題です。いたるところで対話
をし、福
山さんの
政策を訴
えました。
みんなで、



山科支部高畑照世さん
みんな、

運動として「市民の足を守る
連絡会」の結成。乗り合い
タクシー制度をつくっている
寝屋川市の議員を来てもらっ
て学んでいこうと取り組んで
いる。この力を、今年の宇治
市長選挙、久御山町長選挙に
つなげていきたい。

168か月連続拡大を力に
新たな挑戦を
綴喜支部

横山栄二府本部委員

仲間増やしでは168か月
連続拡大は途絶えていない。
この間、高橋支部長は10
0人以上増やされた。
最高が322人、現在28
8人。連続拡大の意識が「1
人増やせばよい」の運動になっ
ている。この現状を変えない
といけない。対象者を出し合
い、みんなで拡大に行こうと
提起しています。

さらに以前あった仲間づく
り部が停止状態になっっている
ので、反省し再開したい。ま
た、前進していたところは、班
活動をしっかりとやってきたが、
最近ではサークルが中心となっ
ている。改めて11のブロック

で班活
動、地
域で
んばる



綴喜支部横山栄二さん
んばる

本当に頑張りました。勝てるの
ではと思つてやってきただけに
本当に悔しいです。

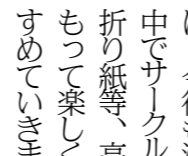
生き甲斐のある日々楽しみ
の持てる活動を
東山支部

倉田伴子府本部委員

市長選挙では女性と30代で福
山さんの得票が相手候補を下回っ
たのが嬉しかった。
秋の仲間増やしで、歩こう会
で5人の仲間を増えた。新しく
加入された方があたらしい人を
誘ってくれる。共済学習会でも
1人が加入。

1月に行つた新入組合員歓迎
会には新組合員13人中10人が参
加。27人の参加で自己紹介をし
ながら楽しい時間が過ぎた。
最近施設に5人が入所、コロ
ナ禍もあります。個人情報だ
と役所も施設も教えてもらえず
困っています。

生き甲斐のある日々楽しみを
持つて人生を過ごしていくため
に、今後も温泉、お花見を計画
中、サークルもカフオケ、写真、
折り紙等、高齢者が生き甲斐を
もつて楽しく暮らせる活動をす
すめていきます。



東山支部倉田伴子さん
場所がない。
喫茶店のマ
マに加入を訴えたい。

運動も行つていきたい。
京田辺市でも「補聴器」問
題が動きだした。社保協とし
て市に要望書(署名1085
人)を出しています。

他支部の教訓を活かした運動を
北上支部

上山洋史府本部委員

これ以上、足を引っ張らな
い決意を述べます。支部役員
が18人いたが、だんだん減っ
て12人です。

仲間づくりでもサークル活
動でも他支部の教訓を活かし
ていきたい。舞鶴支部のバス
旅行の教訓や亀岡支部のサー
クル、その教訓を北上支部に
活かしていきたい。4月に花
見を計画し、バスを借りるほ
ど人を集めたいです。

仲間増やし運動では、毎月
拡大統一行動で、「敬老」と
宣伝活動も実施しています。
市長選挙では全組合員を訪
問・電話等で対話をし、ほと
んどの組合員から福山支持を
もらえました。高齢者チラス
も2400枚配布しました。

今後他の支部の方々の教訓
になるような支部活動を実践
できるように決意を
して発言
とします。



北上支部上山洋史さん
できるよ
う決意を
して発言
とします。



2月13〜18日、綴喜支部主催、京田辺市後援の「第16回いきいき作品展」を市立中央図書館にて開催し、664人とこれまでの最高の入場者がありました。作品出展者は65人、出展数は159点。作品展と昼食会の種類は、写真、絵画、ちぎり絵、折り紙、書、短歌、手芸、編み物、陶芸、工作、盆栽、パン等々。組合員個人の作品やサークル活

「第16回いきいき作品展」664人 綴喜支部

楽しい取り組み
北から南から
レポート

一時休会されましたが、2017年に2年振りに『ムーランの会』(MOVIE&LUNCH)として再開し、現在に至ります。第一回は黒澤明監督の「椿三十郎」を上映、先月は68回目を数え「男はつらいよお帰り寅さん」を上映しました。(写真)

毎回10人前後の参加ですが、映画の感想はもとより、食事しながらいろいろな話に花が咲きます。また会場は下京料理飲食業

ムーランの会下京支部では、前支部長・中谷隆亮氏のご自宅をお借りし「銀杏の会」と名付けた映画サークルが、長年継続されました。

毎回盛況で、多い時は30人を超す参加者が映画と食事とおしゃべりで楽しく過ごしてきました。

映画会開く 下京支部

動で作成された作品が展示されました。

アンケート回収数は279通。「どれも素晴らしい」「元気をもらった」「高齢なのに気力が凄い」「来年も続けてほしい」など好意的な内容が沢山寄せられました。なお、能登半島地震への支援カンパも協力いただきました。



ムーランの会 MOVIE & LUNCH

組合さんの事務所を、お安くお借りでき大変助かりますし、お互いの交流の場にもなります。確定申告時期で、税金の学習もできます。新しい方に声掛けをして仲間つくりにつなげていきたいです。

大阪で絵画を楽しむ 大山崎支部

前夜の雨もすっきり上がり、時々寒い風が吹きましたが、道中は電車と館のなか影響なく都会の真ん中を行ってきました。目指すは大阪で活躍した5人の女流画家展。中でも中心的な島成園の日本画「伽羅の香り」は大正から昭和にかけての作家とは思えない斬新さと優れた技量がバランスよく描かれた素晴らしいものでした。



補聴器学習会に34人 八幡支部

2月23日(祝)の午後、補聴器問題の学習会を開きました。府立医科大学の中村高志先生においでいただき、補聴器のそもそもからおはなしをいただきました。

補聴器学習会に34人 八幡支部

会場は元々幼稚園の教室でしたが、34人の参加で会場いっぱい、座る席にも苦労するほどでした。

先生の話は、目から鱗の話がいっぱい。40歳、50歳代から加



八幡市長への要望書や議会への請願などに取り組みを始めていますが一層がんばらねばと思います。

また、中村先生の話はこの支部にも聞いてもらいたいなとも思いました。

支部紹介 右京支部

レクの活動7割
組合活動3割
楽しい年金生活

楽しき七割、活動三割の年金者組合活動。右京支部はレクレーションを積極的に取り入れた活動を展開しています。

恒例の植物鑑賞会

春の花見シーズン、秋の紅葉シーズン、「冬の雪を見る」、「一駅切符」や「青春切符」を使い安くて楽しい日帰り旅行などコロナ禍のなかでのなかでも



定例の植物園散策

要求運動では「敬老乗車証を守ろう」と右京の連絡会で取り組まれる宣伝・署名(月一回、スーパード)の宣伝・署名に参加し、高齢者の「怒り」の声を聞いて、組合内でも署名活動を強め、1万人を超える方々から集めています。「補聴器の公費助成を求める運動」でも、京都で会が結成されると同時に右京の会も立ち上げ、一昨年の9月

敬老乗車証守れの運動

「仲間増やし」も行っています。昨年は4年間ぶりに「右京年金者まつり」を再開し100人を超える方が集まりました。



補聴器学習会

から補聴器問題の学習会を5つの地域で開催して100名以上の参加がありました。この学習会を取り組んだ結果、「補聴器の公費補助を求める」要望署名は600筆を超えて集まっています。

楽しみ七分で奮闘

京都市長選挙では「敬老乗車証をもっと増やせ」「補聴器の公費補助を求める」などの要求にもとづいた活動が前進しました。

平井敏事務局長記



かぎ状で上下が食い違った大きな嘴

イスカ

スズメ目アトリ科イスカ属

オスは全体的に濃い赤色の体をしていて、頬には褐色味があるイスカ。松かさの種子を主な食料としている。その種子を取り出すために独特な嘴をしている。その形は、種子を取り出しやすいように進化したものと言われ先端がかぎ状で、上下が食い違って大きい。

イスカは、アジアの北部や北アメリカに広く分布するが、今

年は大群が日本にやってきた。北陸の方から段々と下ってきて滋賀県の山に群れがやってきた。今年は長く滞在している。松の木にやってきて松かさから中の種子を取り出していたが、面白いことに幼鳥の嘴は曲がっておらず、成鳥になるにしたがい嘴が変化する。鳥の嘴のかたちはその食べ物や食べ方によって多種多様に進化してきたが、イスカほどおかしな進化を遂げた鳥はめったにいないようだ。(浜)